

超勤・多忙化解消へ！正確な記録で現場を変える：北教組「9月勤務実態記録」のとりくみ

24年度調査では

中学校教職員の約3割が
「月80時間超」の超勤

「月80時間超」の人のうち、7人に1人は100時間超



浮き彫りになった
深刻な実態と課題



勤務時間の把握が杜撰（ずさん）な実態

50.1%

週休日・休日
業務従事時間を
把握していない



65.0%

休憩時間の
業務従事時間を
把握していない

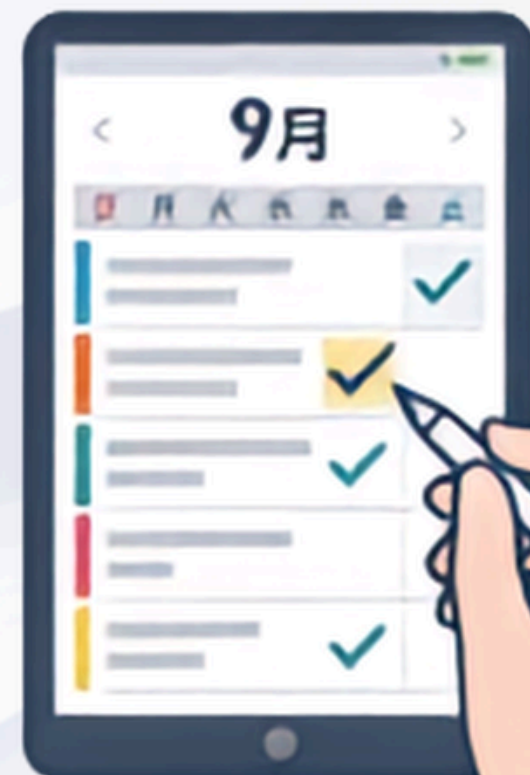


「改正給特法」では「定額働かせ放題」の枠組みを存置したまま、時間外勤務が「自発的勤務」と評価される問題を放置。主務教諭や「学級担任加算」など新たな分断と差別の持ち込みも。



25年6月
成立

「9月勤務実態記録」で実効ある改善へ



9月の1ヶ月間、
全ての業務時間を正確に記録

✓超勤
17:00～21:00

✓休憩中の業務
15:30～16:15

✓持ち帰り業務
5:00～6:30
22:00～23:00



担任加算
の影響

部活動
地域移行

虚偽打刻
の実態



多角的な「質問調査」で
現場の声を収集



調査結果を世論喚起と
政策提案の根拠に

マスコミや有識者への公開、国会・道議会対策、道教委交渉に活用します